結果で考えるか、義務で考えるか

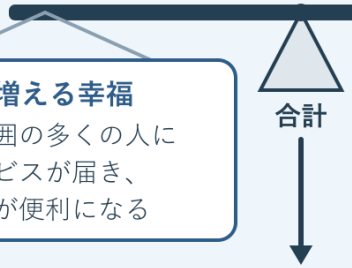
ある地域で大規模な開発を行うべきかを、2つの考え方で判断すると、筋道はどう違うか

場面（架空の町）　**計画：大きな商業施設と道路をつくる**



A　結果を重視する考え方

行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する



＋ 増える幸福
広い範囲の多くの人に
サービスが届き、
生活が便利になる

合計

－ 減る幸福
周辺の自然環境や
快適さが失われ、
渋滞・騒音が増える

全ての人の幸福の増減を合計し、社会全体で最も大きくなる選択をする

B　義務を重視する考え方

行為の動機となる公正などの義務を重視する



広い範囲の多くの人
（便利さが増える）



周辺の住民
（環境の悪化などを受ける）

負担が周辺の住民だけに集まるのは、公正か？

結果に関わりなく、従うべき義務（例：環境を守る）に基づき判断する

2つの考え方を使うときに（学習指導要領解説から）

1. この2つだけが判断の手掛かりではない
2. 結果を重視する考え方は、単なる利己主義とは違う
3. 2つは対立する場面も、組み合わせて考える場面もある

※ 架空の町の計画。開発を行うべきかの答えは示さない。天びんは考え方の筋道の模式。人物は記号。